

婦団連ニュース

国連女性差別撤廃委員会 (CEDAW) の第9回日本報告審議傍聴 報告集会が開催されました

2025年 1月 1日 (金) 1時～ 於：全国教育文化会館



主催者挨拶で婦団連の小畑会長は「私たち NGO の日々の活動は、女性差別撤廃委員会において重要な意義を持つ。そして婦団連チーム 21 人が CEDAW 傍聴・ロビー活動に参加し、今それぞれの団体の中で勧告を生かそうと活動していることは意義深い。女性差別撤廃条約の理念を追求し、勧告を実現させる役割を念頭に運動していこう」と呼びかけました。

CEDAW の傍聴・ロビー活動のため婦団連チームの団長として赴いた柴田副会長は、CEDAW 審議までのとりくみ及び傍聴ロビー活動に向けた代表団派遣の取り組み、現地での活動や私たちの運動で勝ち取った勧告について報告しました。勧告を実現させるためにジェンダー 4 署名の推進・実効ある第 6 次男女共同参画基本計画の策定・男女賃金差別の是正・政治や雇用分野でのパリティの実現・SRHR (セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツ) へのアクセスなどの運動の強化を訴えました。

傍聴・ロビー活動に参加した各団体からは、参加報告とともに、勧告を実現させるための具体的な取り組みなどが報告されました。

自由法曹団女性部千葉恵子さんは、「法定養育費申し立ての困難さ・女性地方議員へのセクハラ横行・インターネット上にとどまっている政府の啓発活動・世襲議員のほとんどが男性で家父長的な慣行が根強いことを訴え、総括所見に反映された。5月に沖縄で行う集会の分科会で報告していきたい」と述べました。

全商連婦人部協議会の土井淳子さんは、「エコバックの普及カンパにより審議傍聴・ロビー活動に参加することができた。『所得税法第 56 条を改正すること』と前回より踏み込んだ勧告は私たちの運動を反映しているものだと思う。秋に予定している全国業者婦人決起

集会を節目に、国や自治体に業者婦人の実態と要求を届ける運動を広げる」との報告がありました。

農民連女性部の久保幸子さんは、「『農村女性の地位向上に関するアンケート』に取り組み CEDAW に提出した NGO レポートの農村女性分野の基礎となった。総括所見に随所に引用された表現や勧告を後ろ盾に政府への訴えを強め運動を継続していく」と述べました。

新日本婦人の会平野恵美子さんは、選択的夫婦別姓制度実現を求める請願署名の開始、通称使用では解決できないなどの声が寄せられ、2000人も集まったアンケートの実施について報告。沖縄県本部事務局長里道昭美さんは、沖縄の米兵への性暴力に適切な処置をとるようとの勧告を実現させるため連帯していくと述べました。



ジェンダー平等をすすめる教育全国ネットワークの永井好子さんは、「CEDAW を教育のカリキュラムに位置づけていくこと、ジェンダー平等教育の推進、総括所見を生かしジェンダー平等社会をめざして運動を広げていく」と決意を述べました。

全労連女性部寺園通江さんは、浅倉むつ子さんを講師に迎えた総括所見を生かすための学習会の実施、カンパを使ったリーフレットの作成、ILO190号条約批准のための請願署名の取り組み等を報告しました。

婦人民主クラブの桑名みちるさんは、「情けなく恥ずかしい日本政府の回答に対し、国際基準のジェンダー平等にすべく第6次男女共同参画基本計画をより良いものにするため運動をしていきたい」と述べました。

会場参加者からは、農民連女性部部長の沖津さん他3人の方から CEDAW の勧告を生かすための日頃の取り組みなどのパワーあふれる発言がありました。

会場でのリアル参加者は70名、オンライン参加者は100名でした。
(オンラインでは複数視聴もあり実際には200名近くの方の参加となりました。)
多くみなさまの参加で、より一層運動を広げようと決意をかため合う集会となりました。

**CEDAW の勧告を実現させるためさらに運動をすすめましょう！
ジェンダー4署名をすすめましょう！**

日本婦人団体連合会(婦団連)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-11-9-303
TEL 03-3401-6147 FAX 03-5474-5585
Email:fudanren@cocoa.ocn.ne.jp